

のは少いものである、ことに若手に於て
おや、といふところだ。誰にでもできる
のでは稀少価値とは云いがたい。

媒妁人のことから稀少価値などといふ
言葉を持ち出しあが、バロールの少いとい
う意味でなく、他に美の少い、まれなるもの
のでなければならぬといつもりなので
ある。

講師 三輪嘉男先生
(パラナ州アルボラーダ在住)

新進の雄弁家

寄書

屁振り談義

勝甫

期日

七月二日(土)午後八時

場所

バストス生長の家会館

どなたもお誇り合せ
御来聴おまちいたします

尾龍な話で誠に恐縮だが年が寄るとお
奈良がよく出て困る。先日も〇市の駅でお
汽車に乗ろうとして、バゴンの入口の金
物に取りつき、足に力を入れたとたんに
一発、それも大きな奴。うしろにエガント
な伯人娘が三四人続いている。しまった
な伯人娘が三四人続いている。しまった
と恩うまもあらはこそ、その娘たちが
おぐさん、ノンホーテーときた。仕方がな
いから「テスカルツバ、ソウジエント」と
挺な言訳をして、ことがおさまったが、うし
ろで爆笑が起つた。なんほ年寄でも一寸
恥かしい。今後大いに慎しまんねうん。
この間も家の中の娘がソツアに腰かけ
て本を読んでいる前の小卓のケースを取
ろうとして腰を曲げたら、張り裂けたよ
うな屁が出た。あつと恩う間に娘にけつさ
れい切りとやされた。何を淑女なもんか、
とやり返した。うちの年寄は
ウロに診て貰うたらええのと遠うか、あ
んまり出しそうかると、阿呆な心配せんでも、たかが屁やないが、
出物腫れ物ところきらわすと云うて、レガ
たがないわい」と云えば、「うちの年寄は
つしみがのうて困る」とおいでなす
た。ドトールと云えば一ペンドトルに訊い
て見よう。年寄になると屁がよう出るが
一昨晩外出から帰つて来て門口まで來
るところを向うから来た外人が大きな奴をぶつ
ついたが、自分ながら、よう間に合うと感
じした。

屁の話で思い出したが恩老の生れた町
にSという造り酒屋がある。ここは主人
は多額納税者男爵。令夫人は頗る美人で
見識が高かつた。ある時県知事閣下がお
出でになり、令夫人が女中をつれて挨拶
に出了。おしゃかに両手をついて頭を
下げたとたんに、いとも可愛らしい茎の
屁の音色にもまごうばかりの優しいあ
らが、何ほええ音色でも、おなうはおなう
(屁とは遠います)奥様すみません
だ。その時うしろの女中さんがすかさず
と夫人の屁を買つて出た。この後で、その女中さんは当
時の金で一百円という礼を貰つた。何の屁ぐうと
恩えが屁も馬鹿にならんもんだ。こんなことを書いて居
る内に又屁が出来になつた。娘が横で勉強している
かう向うへ行そ出してこう。叱られては馬鹿
くさい。たかが屁ぐうのことで・

講演会

Preleção de "Seicho-no-je"
Realizar-se dia 2 de Julho às 20hs.
Preletor: SR. YOSHIO MIWA
no Salão de "seicho-no-je" Bastos

期日

七月二日(土)午後八時

場所

バストス生長の家会館

どなたもお誇り合せ
御来聴おまちいたします

バストスは移民の故郷入植祭

植木水仙子

金五十コントス
一封也

御礼

右は御令弟等様の御結婚記念と
して当区へ、又当区入植祭(三十五周年)
並に敬老会に御贈呈下さいました。

厚く御礼申上げます。

六月十八日

アルト区

子削隆美様

等

笛の音色にもまごうばかりの優しいあ
らが、何ほええ音色でも、おなうはおなう
(屁とは遠います)奥様すみません
だ。その時うしろの女中さんは当
時の金で一百円という礼を貰つた。何の屁ぐうと
恩えが屁も馬鹿にならんもんだ。こんなことを書いて居
る内に又屁が出来になつた。娘が横で勉強している
かう向うへ行そ出してこう。叱られては馬鹿
くさい。たかが屁ぐうのことで・

訪日見聞録
北長門海岸國定公園の中央に位する萩市は毛利三十六万石の旧城下町で三百年の歴史を物語る歴史的遺蹟や明治維新祥の地として後身の伝統と実蹟を持つ風光明媚な都市で明治百年中三十七年の總理大臣を出した長州の根源として是非杖をさきたいあこがれの町である。先ず第一番に訪れたのは自分が生長の家に最初導いた恩師齊藤繁一の母堂であつた。お宅に訪問した処、会社に出勤してまだ帰宅しないといふ事に明日を約して宿に帰る。宿の話では今朝初雪が降つたとお車、北日本が寒いとは身にしみる。夕食を終つた頃齊藤先生の御母堂がお出で下さる。がちろうお方が会社に勤めて居られるというだけではなく思議に思つた方に、此の夜中宿まで御来訪は實に恐縮に堪えず、恐れ入らしく極めて御健康で自転車でお出でなさるお迎えする。御母堂は極めて若々化されただ。しかも勤続八ヶ年一日も会社を休まず、毎年無欠勤の賞を受け居

られると、それはかく健康か御説は生長の神人一休觀がたまもて生命保険を勧誘しつつ生長の家の伝導もしていろと話をされ自分も最初齊藤先生に尊かれ大御札を申し上談等々廻を知らず、御持參の御土産品を有難くいただいた。如何に生長の家の信徒たよてあまりの御健康と御心情が清々かくに明治百年の言葉を思い出し、長州人の理念と情縁とに接した想いであつた。明朝萩を見物し、明治九十九年九月一
夜の夢を結ぶ。
萩は明治維新の大業の原動力となつた土地だけに、名士の旧宅が多く保存されといふ。
品川弥二郎、前原一誠、桂太郎、山県有朋、桂小五郎、益田家老諸氏の旧宅地をタクシーカ運転手は案内してくれる。此の静かな町、阿武川の三角洲にある静かな町が何にも變つた事がないこの名士の旧宅地、外觀上何が變りもない此の町に維新大業の根幹があるのではないか。運転手曰く、名将カ元には万卒があり、家には必ず妻があります。長州の士の意氣を歌った歌をお教へえしましよう。
男なら、おぬりかついて、お中間となつ

訪日見聞錄

萩に游

小説

卷之三

卷之三

卷之三

25

卷之三

卷之三

A small, rectangular, embossed seal or stamp impression, likely a library mark, located at the bottom right of the page.

卷之三

B

A small, detailed illustration of a plant or flower, possibly a lily, showing its petals and center.

卷之三

A detailed scientific illustration of a fossilized ammonite shell. The shell is shown in a lateral view, exhibiting a complex, tightly coiled spiral structure. The surface of the shell is covered with fine, radial lines representing growth increments, and some darker, more prominent siphuncular structures are visible as concentric bands or lines.

卷之三

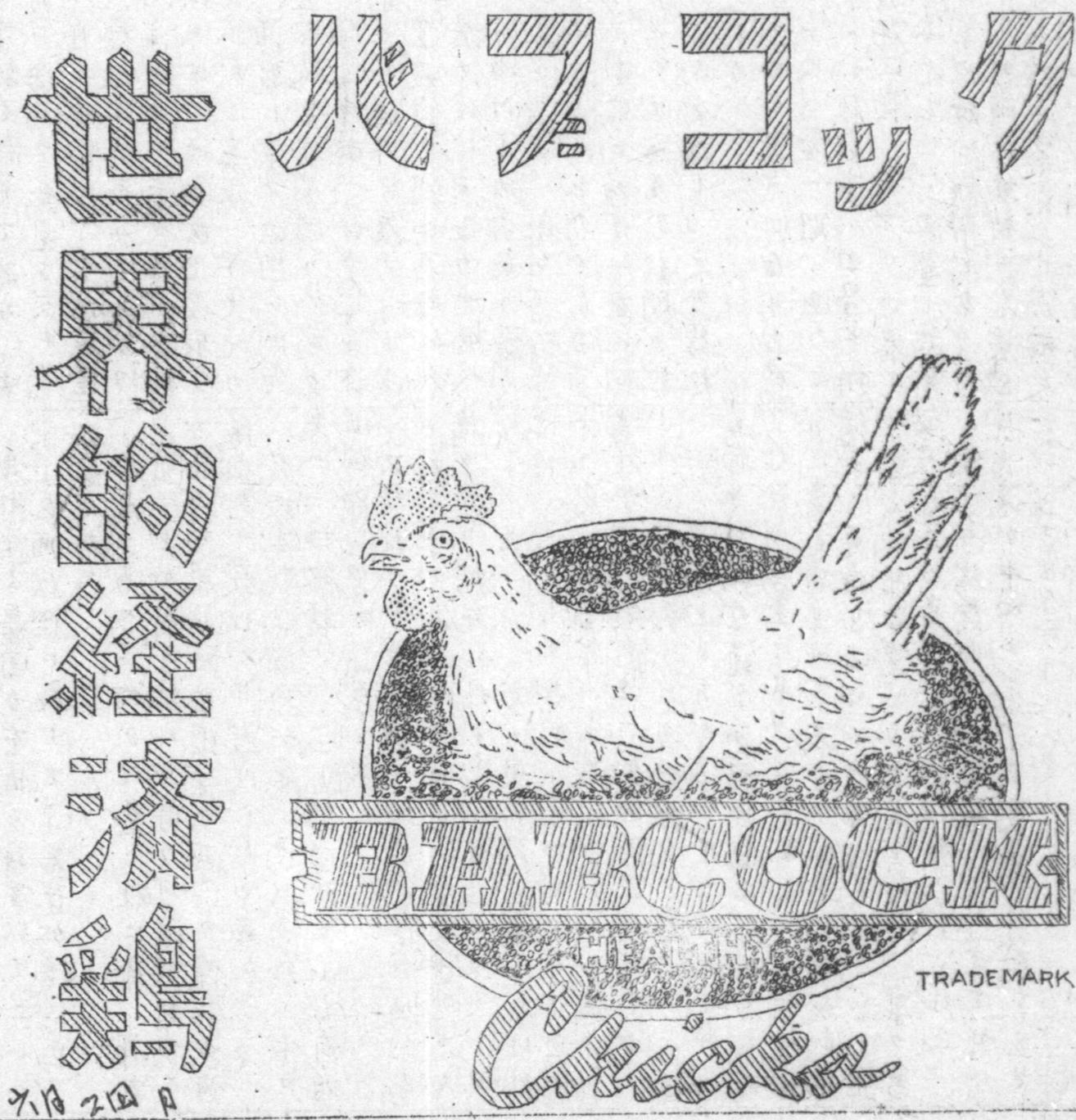
11
2.
3.
4.
5.
6.
7.
8.
9.

MADE

MAP

B-300

Bakery



て、ついて行きたや下関、お国大事と、
きくからは、女ながらも武士の妻、まえ
かゆ時はしめだすき、神功皇后さんか
雄々しい姿か、鏡トやないかいな、オ一
シヤリ、シヤリ、

維新回天力大人物出生力地

電氣器具
開業

自動車新モール

モートールの巻替え

その他コンセレト一

迅
速
丁
寧

御用命下ナニヤ

ツ
ツ
ハ
ン
廟

A1

郵亟五五八

1

小山

庚
夫

AUTO-PEÇA-ELETTRICO

de M: OYAMADA

小山

庚
夫

Fone - 2393
C. P. 558

松陰は二十才から二十五才の短い一生の中、日本全国一万数千キロを旅して行き着く所で書物を借りて読み、情報を視察し、学者に会って意見を交わす。その上、一日五十歩も歩いた。青軍松陰が憂國の意気は只感激するのみである。長崎に行つて西洋文明の革々しさを見入れら可と教えられ、嘉永二年米国を水師提督ペリーが浦賀に来て我国に開国を迫り、幕府は翌安政元年開国を條約を結んだ時、松陰は金子重輔(萩人)と下田に行き米艦に乗つて海外に渡ろうとしたが、捕らえられ、獄中に於ては、同獄九十餘人に一人間の加害者はそのけもカニ鳥と邊りわけを知る事にありと説き、俳句書道等を教えて獄内に光明を点したのである。安政二年許されて杉家に帰り一室に閉も籠り生活を送つたのであるが、其間も一家の人達や子弟に学問を講じ、之が後松下村塾となつた。

松下村塾は塾生の手造りになり家が高きも底く、講義室は八畳一間、並んで控室が建てられ、又は休息室、四畳半控所三畳塾生荷物置場三畳、と云う世界で一番小さい学校であった。この塾で教育したのは僅か二年半の短い期間であったが、その塾生の中から明治維新の大業をなした多くの偉い人達を出し、世界最大

吉田松陰は杉家の出身、半士半農の會
しい武士であつたが、父百合文助は信心
深く学文が好きで、田舎に働く間にモ
米をつく暇にも子供達に日本國体立
派な事や学文の大切な事を常に説いて
聞かせて居た。母ウタヨ子も、いつもし
み深く優しい中にもよく夫を助けて六人
の子供の教育に当つた。杉家の家庭として
神を敬い祖先を尊び、親類中仲よくす
るなどは、その子供達の心に輝く光とし
て植えつけられたのである。それからう
れか兄弟仲よくかつたことは、人々見ろ
目も羨しい程であつた。
叔父玉木文之達は大次郎（松陰の幼名）
の才能に目をかけ、特に力を入れて教育
したのであつた。
松陰は十才の時に藩の学校明倫館に
出て兵学の講義をし十一才の時には、藩
主毛利公カ前で兵学の講義をしてお賞め
の言葉を貰つたほどに優れて天分を持つ

の結果を擧げた學校となつた。これ全く憂國の至情を身を以て手本に示した師松陰に応じて、子弟達が憤り立つた爲である。

今もそりそりやか在塾の柱には、捕方と塾生とが斬り結んだ時の力恨があり二
ち残つて居り、塾出身の明治の傑物の消
像画が十枚ばかり懸けられて居た。

久坂玄瑞、前原一誠、高杉晋作、木戸
孝允、伊藤博文、品川弥二郎、山縣有朋

山田顕義等の諸氏である。

又校舎の一室三畳一間は松陰が幽閉せ
られた室であり、又同家は塾生達が米を
搗きつつ勉強にいそしんだ由やキ未だ其
のまゝあつた塾の壁には「勉強しなけれ
ば偉い人になれない、働くなければ世の
中で爲に有る事は出来ない」と云ふ意味で
書をかけ、役に立つ知識を自分のもつて
とする爲に命がけで勉強をした。

田舎の草をとりながら米をつきながら
ら師弟が血の通う勉強に励んだのである。

松陰は村塾にあつても乱れ行く國の様
相を憂え力を以て正しい人達を压迫する
横暴な幕府をこらしめようとして遂に塾
生達と計り上京しようとしたが、其の爲
安政五年の暮、再び山野獄に入れられた。

獄中で松陰はつくる幕府の亂暴を怒り
長州藩を中心となつて倒幕の計画を立て
た。(以下次号)

貴重な週報紙上を借りて一年のあゆみと思いましてベンを取りました。住心地の良いバス停去るもんじやないといふと信じて居たのに何の魔かさしたか、自分の年も忘れてサンミゲールに移転したものなの、未だ遊んで食べられる程の資産もないし、少しばかりコストツクもあり店舗もそのままのまゝ所変われば品かれと諺を現実に味わいました。上等物は殆どと云つて良い位売れないストックを持つて居たコレント牛の系類は見向きません。安物しか出ん、商売又始めに度つて出直したも同然でした。盗難に合つて目ぼしい金高物は大部分持つて行かれた。バス停と同じ様に冬気にして居たのが間違い、昼間ちやんと計画して居つたらうしい。家庭内も乱れ一時はバス停へ迷走りしようとまで身心共中ぶりで居た事もある。

今に来て同居するに有難いと感謝して、其の非をさとし、一年間は何を置いてでも辛棒せよ」と、肉親も及ばぬ熱心で心から励げさせて、呉れの事が原動となつてサンミゲールに根を下ろします。店ヶ前通りには旧りオ街道でサンパウロ市内ではあるが、十五キロ程離れたバロコです。

未だ処々空地は有りますが建つところは全部店構へで口一・ジャスが軒を並べて三ヶ所位あります。近い将来イタインという次の町まで続きます。五ツの起点を持ったオニバスが五分間置位いに往来しています。

自動車の通行のはげしい處で店舗左時一寸コンタしたくてすが、五分間に三十五台から四十台が往来します。ちぢみとけいめウルサイ感じがしました。

自動車事故は意外すくなく、たまにあります。人命を奪うと云つた事故は僅です。ベンツ・サンミゲール間に一ヶ年に一家の中へ自動車が突込んだと云うのが四回程ありました。

バイアナの様にピンが好きか、ピンがモトリスタを呼び込むか此點に不思議な奇縁といふものがあると思はれる。

一年のあゆみ

浮田現雨

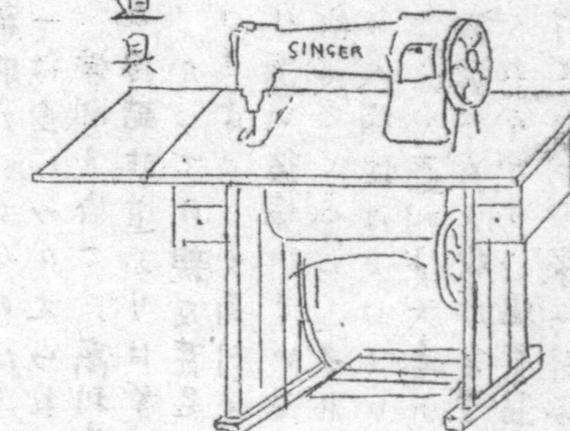
電
書
十六
番

CASA TARODA

SEC. MAQUINA DE COSTURA SINGER

シンガーミシンは貴女の
運針の軽快さといい
スタイルと云い
堅牢さと云い
敢て非の打ち所
シンガーミシンは貴女
として一番太切左

壁牢さと云ふ一縦二おり
敢て非の打ち所がありません
シンガーミシンは貴女の嫁入り
として一番太切なものです
使つている人が保証して呉



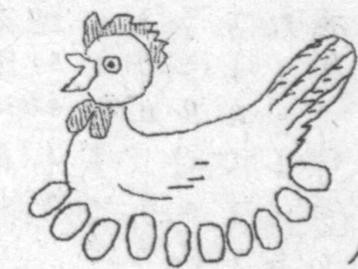
A vertical column of seven pairs of hatched fragments, likely representing a single long strip of material folded and cut.

小商店の近くあバールには警察の自動車が巡回込んで死人を一人出した事があります。荷物を積んだ自動車が店の前でパシッと大きな音をたてて石油ランタとか其の他の通行人が素早く拾います。が決つた様に後から来た自動車が止まつて、前か車に通じて行つてやろ?と、あり自動車のアドバイスで云つて持つて行つてしまいます。子供時代に東京大阪では、生馬の目を接する人が聞かされましたがサンパウロでは、自ら間の目を盗む様な振舞だと笑し姓。自動的に次いで人間が多い事も又驚きで店の前は朝四時になれば続々と通勤者者が増え始め七時八時までもオニバスも此の人の等々千分の一がフレガースであるがシエニスも卸して呉れません。どうは問金が五コント札がナマゲツクのは月の内十日から十五日頃までの五日間位のままであります。此の人の多い点で希望を持てば現金が手元で借りられます。あの時六ヶ月を経て印度から返すまでの間に給料の出る十二月頃はたゞ一ヶ月の間に、フレゼンテの物なら何人でも借りられるに売れて嬉しい悲鳴をあげました。三十日以内に金を返さなければ、資本と労力不足から。小商店も現在はバス以上の大成績を挙げます。毎日ノーボックレゲースが大人が見えます。サンミゲルに開店を喜んで居ります。鶏屋様が様子に大金はつかまれんかも親しくして頂いた人々と語り合ひ、恨み重なる将だ園暮仲間をびっくりさせます。面白味がありまます。今年入植祭には御厄介になつた人々や道場破りとまで行かなくも先生扱いに令う事必定、行きたが無念でたまたま金儲けに負けたやうに頑張って見ても返り討ひに会う事多し、勝負に負けて帰る後姿はマイスマジメであれど見られたもんではない。大体をんな見つともない事では先祖に付して申証がたん。寒さが厳しくなります。バストスも皆様御身御大切に益々御社業を御祈りしつつ

金一封 御 礼	亡夫島崎勝巳様の三回忌に当り御懇意下さいました。謹んで御礼申上げます 島崎みきえ様 バストス南米本願寺
金一封 御 礼	故庄礼信吉様の香奠返しとして御寄贈下され有難く御礼申上げます バストス柔劍道連 盟
苗木 ムーダ	みかん 柿 ぶどう 桃栗
その他おいしいフルーツの 苗木	鑑賞樹 花奈るい ツツジ バノ
その他あなたのすきなもの 沢山沢山	電話 二九 駅函一七一
バス・ス市オーフルス街杉山氏裏	森 元
名作 金色夜叉 貫一とお宮	転写 ◇あらすじ 高等中学生へ今 東大教
養学部間貫一の許婚者鷗沢宮は「タイヤモンドに目がくらみて」貫一を捨て金持の富山唯継に嫁ぐ。宮は貫一を愛していればたかが学士風情の夫では満足だといふ。しかし自分の美しさの値打からみれば美しい。才能があれば男は出世しないえない。しかし富貴を得られると信ずるのは美しいけれども、富貴を得られると信ずるのは美しい。才能があれば男は出世しない。しかし富貴を得られると信ずるのは美しい。才能があれば男は出世しない。しかし富貴を得られると信ずるのは美しい。才能があれば男は出世しない。	貫一は金にみかえられた魚の心をはらそと、やがてその冷酷非道ぶりは業者仲間の評判となる。かつての親友荒尾の忠告、ほれぬいてつきまとう女高利貸の赤樺溝枝。結婚後は深い後悔にさいなまれ固く凍つた貫一の人間性はとけようともしない。しかし主人の高利貸夫妻の悲劇死、また官が激流に身を投げる夢をみて貫一の心はぐれかかり、塙原温泉で心中の男女を助けて自分の家に引取る。官から死期が近づいたとの手紙を受け

12

毎日金の玉子を産ませるには



トヨニシス
処方通り飼料に

ませて鶏に與えるだけでもろい
養鶏の秘訣はトリニックス給興第

コリーザ、カゼ、コレラ、チブス、などの悪い病にから
せないように 予防と治療に

サナミツクスを
給与して下さい
聖市 ブラウリオ
ニ五番 ゴメス街
十 階

サナ家畜製薬会社

聖帝

五番
十階

日本人部代表

前

本
博

TORIMIX
SANAMIX

加藤千永子先生
座談会の要略

加藤千永子

要略先生力

ソロカバナ
バスストップ
代理人 地方

バス・電話
一五二 宅 一六八
丸 山 敦

六月十七日午後四時よりコチヤ産組の
加藤千永子先生より、旦譲及び花力
関係者に集まつて貰い、座談会を催す旨
を長橋さんから通知を頂いたので、私
も数名カリケ花師範を誇つて出席した。
始め内は日語関係者が出席が遅かっ
たので、僅か十名位いでメーリサを取り囲
んで、先生を中心にして座談会を豊島さんの司
会で、まず先生の紹介から型力如く始ま
った。加藤先生は、「私は四年ほど前に、同じ
く日語教科書編集に担当された武本由天
さんと、市ヶ尾海岸バス停に参りまして
森重扶美さんのお宅で一晩こ厄介になリ、
又二年前にトツバン青年団に講演を頼ま
れまして参りましたときには、そのときは只街
を通り過ぎようなきので、今回が三度目
でござります。」
実は四月廿四日に当地の本願寺
からご招待を頂いたのでござりますが、
その時はスザーノの方に講演の先約があり

によつて日本文化を研究したい。又親達と詰か出来ることにありたい。尊色をあつた。

然しそれらが生徒も家庭の事情やら何やらで、現在でけ中退する者もあり、その数二百名余りが懸命に勉強を続けてゐるが、そり生徒を大別すると、大学生、婦護士、商社に勤めてゐる者、医師、看護婦、メカニコ、新聞記者、運転手、銀

敬老会
六月三十日で〆切
(70)
以上
申込

六月三十日で〆切

出演者は必ず

卷之四

前山商店 守赳商店
阿部卯組合 小茂田商店

入植祭 エンケイカイ係

日本式 ブラジル式

像石燈籠

い墓石もコンセルタいたし

西周碑文

鄭風
二十三

幼少の記

証明されて居る。

オルカン、ルアイオリ

う手でする」とは四才
が、語学となれば少し

、乃と、伯人カ子供に左
便ハ街で遊んで云々、内

又日本語が以て
判郎方の子供が一力木久

覚え方以要はなかろう
向ひアジル人として教

日語に於て学び、曲
べて日本を指導の人

植えつけろ」とが大切

詰め手紙か書け之モ、それで
人並みのことであつて、決し
系と云うことは出来ない。
解かり、伯語が解つてこそ、
てウ誇りをもつて伯人達の中
の自信を持てばやく出来方とゆう

Fábrica de Granito conserta-se o tumulo

アリタニヤ - 6.7.19

◆よみぐる

並に御礼

ありまりに有名な熟透の海岸の場。例
の「今月今夜の月を曇らして見せる」とい
うあと、貫一はとりすがる宮をふりかぎ
つて去つてゆく。宮はもう起きた力も失
つて、ただ声を限りに貫一の名を叶ふ
り。すると男の声もはるかに聞えてくる

あああああ
貴一さんだ！
首をのべて見まわせども、目を瞠りて
眺むれども、声せし彼は黒き影のかき消
す如く失せて、それかと思ひし木立の寂
しげに動かず、波は悲しき音を寄せて一
月十七日の月は白く愁いぬ。

△豆智識 明治三十年から新聞に連載し始めたこの小説は大好評で、統篇、続々篇、統々篇、新続篇と書きつがれ、明治三十六年に紅葉が胃ガンで死んで未完に終った。しかし、こう続くと作者も息切れすると思え、苦しまぎれに貫一を塩原見物させ、そもそも塩原の地形たるところなどと書いて、こまかしていたから、園遊会で貴婦人連にとりまかれ、官夫人をどうして下さるんですか」と責めたてられたリレた。悲劇の発端となつたダイヤモンドは三百万では、目がくらむ宮は、すいぶん安っぽい女といふことになる。これで森鷗外にさんざからわれた、紅葉ほどの大作者でも宝石には縁のないビンボ暮しだったことになる。

念品至御賜お贈れり皆様より御丁重
な御扱いを受けました事と有難く身
にしみて御礼申上けます。
又製糸会社に於かれでは移転車を御
提供下さる事となりまして遠路の旅
路とて誠に心強く感じ御厚意の程あ
りがたく厚く御礼申上けます。
この度びの移転は先方に兄弟が居り
しきりと私居を懇願されて決意致し
ましたか住み馴れた御当地に思いを
引かれますのも御友情の温さと感謝
に堪えません。末筆乍ら皆様の御健
康を御祈りして御挨拶と致します。

三

三

卷之三

にがこうり

筆
禍

系
立

フ ラ タ ク 製 糸 会 社 様
そ の 他 従 業 員 様
各 位 様

ボクシング区の美拳

書いたところ、忽ち抗議が出た。
寺院をめぐつて対立して居るのは、見苦しいから仲裁を買って出て人が、
「おめいが、あんなことを書くから、せつかくまとまりかけた和解がワヤになりそうだなんだ。先方から断つてきたんだ」というか、そりや氣の毒なことをしたくなかったが、じやまをする結果になるとは、思ひもようへ。和解が成立したら、私は拙文の態度を、さきよく記しよう」

筆者はありのままを書いていたのだ。
誰をも中傷していいないし、斤方ばかりの肩も持たないし援護射撃的な効果も粗々はない。まあ立腹しないで、ゆっくり和解されたいものであら。

尚道路費（区内）とて金千コトも見積って居る由

一金五十コントス也

連絡費控除

敬老会

慰靈錄

オニアンは今年入植三十五周年を迎えたが居住者が少いため左スミも実行困難なので予算二〇〇コントを次のよう
に寄付し有意義に使用したいと文協主催のバストス入植三十八周年祭の行事に
寄付する

死亡通知並に会葬御礼

莉妻面川ゆき(52)儀予取て病氣療養中の処薬石
の効なく去る六月十九日の朝長逝いたしました
葬依て同日午後五時自宅出棺バース墓地に埋
葬仕りました此儀生前辱知各位に謹告し併
せて御縊篤なる御見舞を深謝申上げます追
つて葬送の節は御多忙中遠路態々御会葬下さ
れその上御丁重なる香料花輪など御贈供賜
御芳志ありがたく御礼申し上げます一々巡回
されに上るべきですが取込中につき御赦しが頂
紙上を以て厚く御礼申し上げます

一九六六年六月二十日

シャカラ(産業組合村)

喪主

夫

長男 妻 次男

川 川 川

千 照 文 絹 信 真 四 豊 恵 美 富 信 一 平 順

賀

砂 美 千

雄 德 子 子 浩 江 一 澄 美 子 代 寿 男 行 次

親友 六五四三次女女女夫

面面面面面面

太田 井戸狩 西小 人 友

屋迫 田 戸狩 西小 人 友

あけの星会の皆様

川千賀雄
家族一同

面

御禮

六月廿五日イグレジヤ バス^{トス}に於て、
莉妻ゆき、の七日のミサを致しました處、
貴会の皆様方に於て万事御取計られ下され
誠にありがとうございました
御厚意厚く御礼申し上げます

生長の家青年会
バストス仏教婦人会
バストス産業組合
バストス産業組合村
バストス連合仏教会
バストス連合仏教婦人会
ボンファイン区
師範学校一年生
グレーミオエスタンチル
州立中学三年生
四日俱楽部
バストス知友部
各位 各位 各位 各位 各位 各位
“

竹伊
内藤
熊三
義輝郎

